

第51回定例総会のご報告

小田急金森泉自治会会長 稲垣 明博

第51回 小田急金森泉自治会定例総会が令和4年4月3日（日）午後4時より、ふれあいまみじ館にて開催されました。出席者47名、委任状208名、合計255世帯となり、会則による全会員数355世帯の3分の1の参加数を満たし総会が成立した旨、報告がありました。

はじめに会長より

2021年度活動として、新型コロナウイルス感染症の影響から予定していた50周年記念式典は中止になった事、式典で披露予定だった記念ムービーと記念誌については完成したと報告がありました。会員の皆様へ向けた情報発信としてホームページ（試作版）の公開、自治会活性化プロジェクトとして会員のお子さまの絵画を募集し、2件の提供があった。長年の課題であった自治会会館設立に向けて町田市からの敷地の目処が立ち、来期は自治会会館の準備に向けた検討を行う「自治会会館設立検討委員会（仮称）」を立ち上げる事を第2部で審議を頂きたいと報告がありました。

■第1部 議案について■

総会資料に基づき、2021年度の各係の活動報告、会計の決算報告及び監査報告、2022年度活動方針案、予算案、新役員案の紹介が行われ、承認がされました。

○活動報告のなかで担当者からの申し送りについて

- ・防災担当から「防災用に限らず、普段使いの食品の備蓄（ローリングストック）を各家庭で心掛けて頂きたい。」
- ・清掃・環境の担当から「資源回収（第2、第4日曜日）について各班で収集場所を決めているが、周知が漏れている点があり、場所によっては自宅前に出しているケースがあるので各班で1～2か所に決めての回収をお願いしたい。」

○各報告の後に質疑応答がありました、詳細は次のとおり。

2022年度予算案について

Q.防災予算について、昨年より5万円減額の9万円となっているがその理由を教えてください。

A.防災については順次機材の購入を行っており、ある程度設備が整ったとの認識で予算を計画し、役員会で提示承認がされた。必要な機材が足りないのであれば予備費や年度末の予算からも捻出できると考える。

Q.ある程度設備が整ったとの事だが、計画されている必要な備品はあと何年で完備できるのか、お答え頂きたい。

A.今まで10年間で約310万程の予算を利用した。その内約200万は都や市の補助金、残りは会費や環境資源費だった。予算計画は防災隊長の体調不良により、十分な審議ができなかった事をお詫びしたい。具体的にはトランシーバーの増設等を考えたい。

Q.防災費が5万円減らされて、予備費が6万追加されている為、予備費を防災費に割り当てられないか。

A.予備費の扱いは来期の役員会で検討して欲しい。防災費の使い道は工夫できるのではないかと考える。非常食などは貯蓄制限がない、毛布の抛出など各家庭で余っているものを持ち寄るとかの改善、努力をするのが健全と考える。

Q.あと何年で設備が整うか数字が明示されていない事は一会員として不安である。予算を減らすのであれば、減らしても充分であることが分かる資料などを今後は提示して欲しい。

A.防災については充分な額というのは決められない。どこかで折り合いをつけなければいけない。役員会に防災担当の方も出席されているので、その時にご提示いただければ検討したい。

■第2部 議案について■

総会資料に基づき、自治会活性化プロジェクトの一環、自治会の事務局機能の強化等、従前の懸案解消を目指す位置づけ、会館設立の可否を来期の自治会総会での決議をするための情報収集、意見集約を行い、計画案の立案を行う、自治会館設立検討委員会（仮称）の決議について説明をし、承認がされました。

○説明の後に質疑応答がありました、詳細は次のとおり。

Q.検討会の設置は異議なし、総会で意思決定するにあたり、その方法を検討してほしい。多数決か全世帯の投票にするのかを議論して欲しい。設立を行わない場合、予算14百万の有効利用についても議論して欲しい。

A.意思決定については検討委員会のなかで検討する。建設の方向になった場合は、意思決定について明示したい。建設をしない場合、今まで積み立ててきた会館設立の予算14百万について、どう活用するかも検討をしたい。

Q.14百万をほかのことには使えないのか。用途変更をすれば利用できるのか。

A.分配は出来ないが、用途変更すれば予算を利用する事が出来ると考える。

Q.予定地について、みずき山ふるさとの森に会館設立はできないのか。明るく安全に活用できる場所として良いのではないのか。また防犯カメラの設置等ができれば、防犯活動に繋がると考える。

A.防犯カメラの設置は町田市に陳情活動すれば可能と思う。みずき山ふるさとの森は地権者がいると聞いており、利用できるか不明。現在の建設予定地は町田市からの提供で無償で利用する事ができる。防犯含め要望として受け止める。

Q.地震などにより倒壊などあった場合の会員への負担等を議論して欲しい。又検討委員会にはリスク判断を行うチェックポイント等を設け、客観的に判断して欲しい。

A.リスクについても検討事項として組み入れる。委員会が可となった場合にはその姿勢で委員会を行っていく。

Q.検討委員会はどのような形で人選されるのか。

A.総会資料に委員会組織の構成案を記載している。最終的な人選は自治会長が責任を持って行う。

○その他 ご意見・要望について

・老人会としては会館設立を期待している。自分たちが活動している間に建設をして欲しい。市からの用地提供があったのだから無駄にしないでほしい。市への請願や議会の傍聴に参加もしてきた。会館設立は是非お願いしたい。

・自治会館に反対ではない、住民が適した予算として選べるようにして欲しい。

・設計の仕事に携わっている、自治会予算と市の補助では建築物も上限がある。建設概要を絵に書いて精査できれば良い。皆で積み立てたお金の為、皆の合意が必要。検討委員会でチェックポイント等を設け議論をお願いしたい。

会長より閉会のご挨拶

第51回定例総会に長い時間ご出席いただきありがとうございます。本日頂いた貴重なご意見を活かし1年進めてまいります。何かございましたら、各班長、わたくし会長にお声がけ頂ければと思います。本日はありがとうございました。